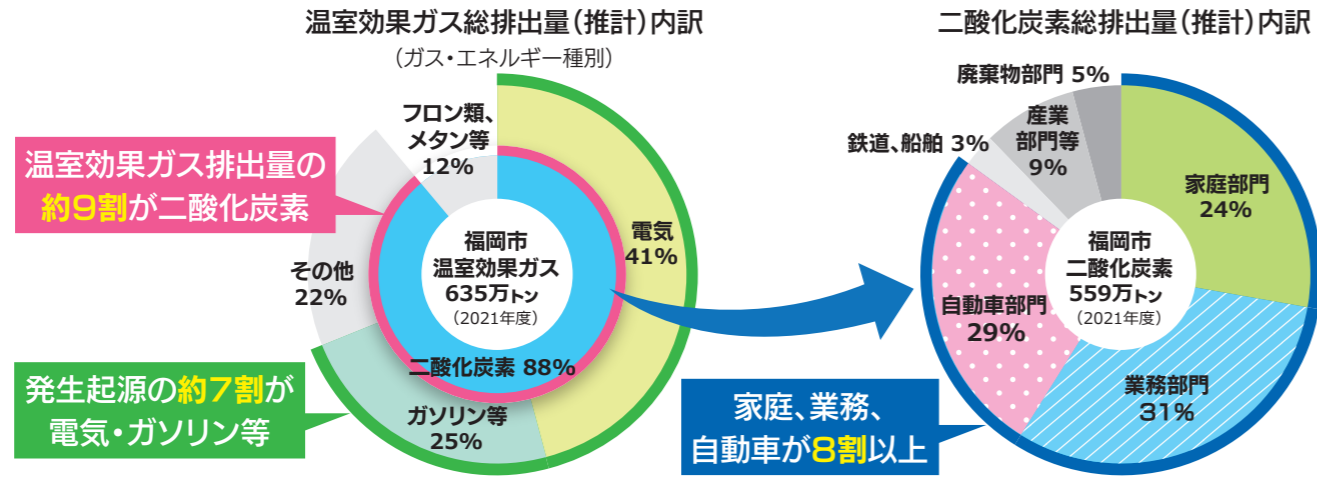


# 福岡市地球温暖化対策実行計画について

## 1 福岡市域の温室効果ガスの排出状況(2021年度)



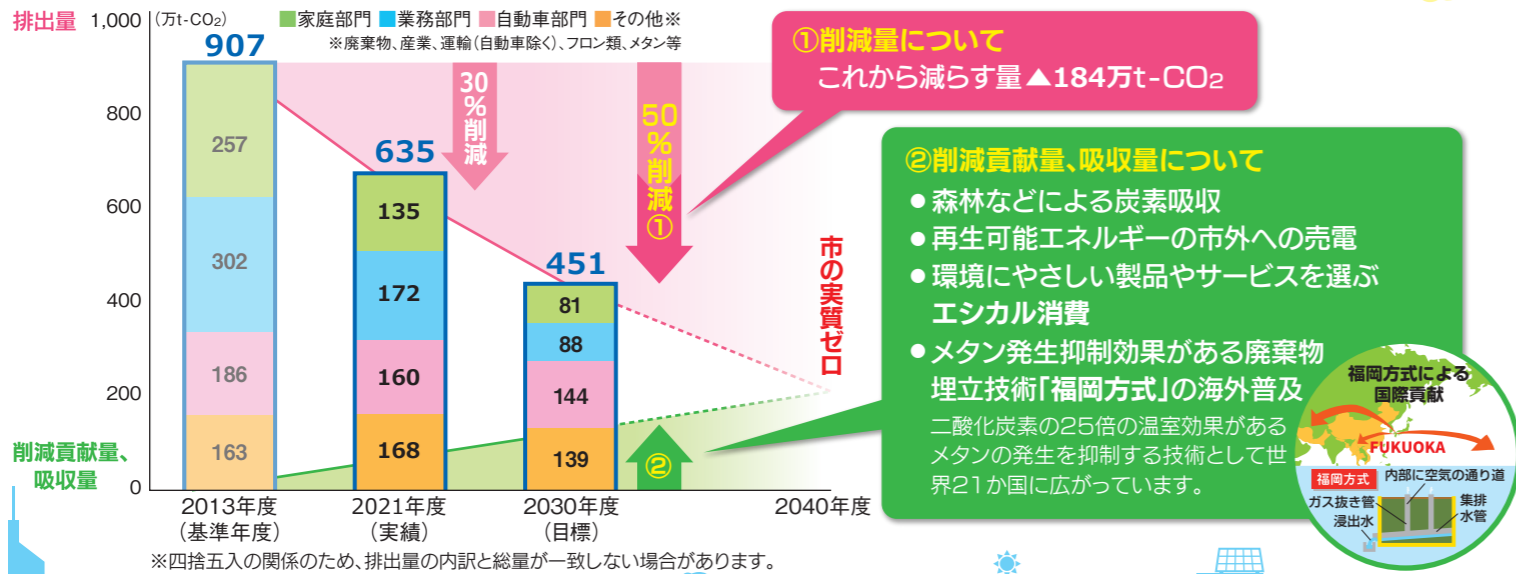
## 2 めざす姿

カーボンニュートラルを実装した都市をめざして  
チャレンジ目標 2040年度温室効果ガス排出量実質ゼロ

## 3 2030年度目標

- 目標① 市域の温室効果ガス排出量: **50%削減**
- 目標② 市外への温室効果ガス削減貢献量、吸収量: **100万t-CO<sub>2</sub>**

※基準年度:2013年度 計画期間:2022~2030年度  
※対象とする温室効果ガス:地球温暖化対策推進法第2条第3項に規定されている7種類



福岡市役所  
自身の目標  
エネルギー起源  
二酸化炭素排出量  
**70%削減**

# チャレンジ! 脱炭素 福岡市地球温暖化対策 実行計画 (概要版)

カーボンニュートラルを実装した都市をめざして



### 脱炭素 (カーボンニュートラル)とは

省エネの取組みや再生エネ等の活用により、温室効果ガス排出量を減らし、最終的な排出量と森林などによる吸収量を等しくすることです。

### 脱炭素社会(温室効果ガス排出量実質ゼロ)をめざした動き

**気候危機**

- 国内外で気象災害が激甚化・頻発化しています。
- 気候変動の影響は、福岡市にも及んでいます。

1950年7月20日 最高気温 **33.4℃**

2018年7月20日 最高気温 **38.3℃**

削減: 省エネ, 再生エネ活用

実質ゼロ: 削減 = 排出量 - 吸収量

吸収: 森林で吸収, 藻場などで吸収

**世界** パリ協定において「21世紀後半に世界全体で温室効果ガスの排出を実質ゼロにする」ことをめざし、各国で取組みが進められています。

**日本** 「2050年までに脱炭素社会の実現をめざす」という方針のもと、「2030年度の温室効果ガス排出量を46%削減(2013年度比)」という目標が示されました。

**福岡市** 世界や日本が目指す脱炭素社会の実現に積極的に貢献するため、「2040年度温室効果ガス排出量実質ゼロ」の実現を目指した取組みを行っています。

お問い合わせ

福岡市環境局脱炭素社会推進部脱炭素社会推進課

〒810-8620 福岡市中央区天神一丁目8番1号 TEL 092-711-4282 FAX 092-733-5592

環境局ホームページ <https://www.city.fukuoka.lg.jp/kankyo/>

福岡市 環境局 検索



福岡市環境局



-福岡市-



# 脱炭素社会に向けて一人ひとりができること

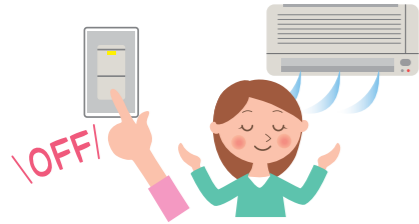
家庭部門では、2030年度にかけて二酸化炭素の排出を、世帯あたり年間470kg削減する必要があります。家庭をはじめ、職場や学校など様々な場面で、二酸化炭素の排出削減につながる、記載の取り組みにチャレンジしましょう。

## 家庭の取組み

### 住まい

#### ■身近な省エネ行動を実践する

過剰な照明、冷暖房の利用を避ける、省エネ家電・機器を利用するなど



省エネ取組例	年間削減効果
☑ LED ランプに取り替える	▲23kg
☑ 照明は必要なときだけつける (点灯時間を1日1時間短縮)	▲0.8kg
☑ エアコンは必要なときだけつける (1日1時間短縮)	▲4.7~10.2kg
☑ 入浴は間隔をあけずに入る	▲86kg
☑ シャワーを不必要に流したままにしない	▲29kg
☑ テレビを見ない時は消す (1日1時間減らす)	▲4kg

#### ■省エネ性能が高い住宅(ZEHなど)を新築、購入する

#### ■リフォーム時は内窓の設置や複層ガラスへの交換、壁や天井への断熱材を使用する

ZEHのしくみ



▲380kg  
-CO<sub>2</sub>  
省エネ性能を20%向上した場合

## 暮らし

#### ■環境ラベルを確認し、購入の参考とする

「エコマーク」や「FSCロゴマーク」など

ライフサイクル全体をとって環境負荷が少ない

適切に管理された森林の木材が使用されている



#### ■家電や機器の省エネ性能を比較して選ぶ



#### ■日々の買い物や外食での食品ロスを減らす それでも出た生ごみは堆肥化などの資源化に取り組む

▲84kg  
-CO<sub>2</sub>  
食品ロスを半分に減らした場合

#### ■リフューズ(不要なものを断る)に取り組む

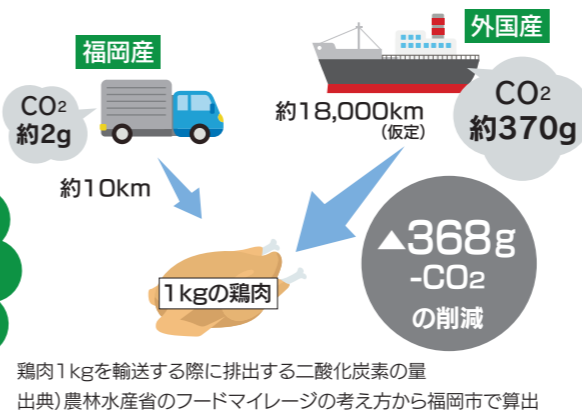
#### ■簡易包装された商品を選択する

#### ■マイバッグやマイボトルを使用する



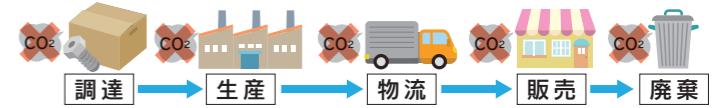
#### ■新鮮な地元食材を使用する

→ 食品配送に係る環境負荷低減につながります



## 企業の取組み

#### ■事業者は取引企業とともにサプライチェーン全体での温室効果ガス排出削減に取り組む

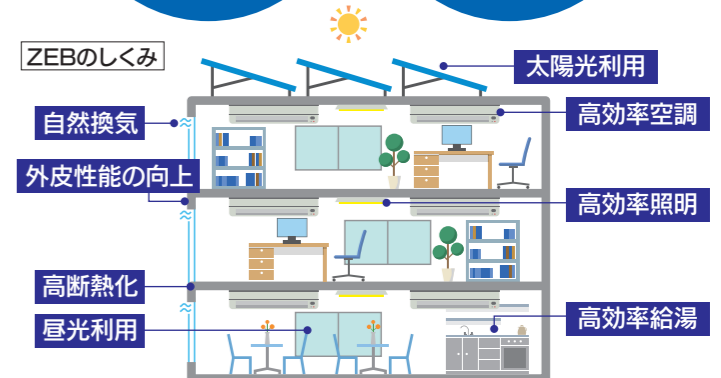


#### ■省エネ性能が高い建物(ZEBなど)の建築、改修を行う

#### ■更新時に省エネ性能の高い機器を導入する

▲206kg  
-CO<sub>2</sub>  
高効率サーバを1台導入した場合

▲8,600kg  
-CO<sub>2</sub>  
ビルに高効率給湯器を導入した場合



## 共通の取組み

### 再エネ

#### ■住宅やビル・倉庫等への太陽光発電設備や蓄電池、HEMS\*(ヘムス)やBEMS\*(ベムス)を導入する

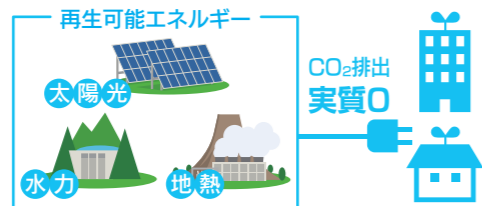
※エネルギーの消費を監視/制御するシステムのこと



▲760kg  
-CO<sub>2</sub>  
太陽光パネルの設置が再エネ由来電気へ切り替えた場合

#### ■再生可能エネルギー由来の電力を積極的に利用する

テナントに入居する時には再エネ由来電力を利用できる物件を選択する



再生可能エネルギー由来の電気プランへの切り替えでCO<sub>2</sub>排出が実質ゼロの電気を使えます。

### 移動

#### ■徒歩や自転車、公共交通機関の利用を心がける

#### ■目的に応じてオンラインを利用する



▲125kg  
-CO<sub>2</sub>  
車に替えて自転車を利用した場合

※往復4km(片道2km)240日使用した場合(国土交通省資料を基に試算)

#### ■シェアリングサービスを利用する

→ 自家用車の保有割合の低下につながります



#### ■エコドライブを心がける

事前の走行ルート確認、アイドリングストップなど



▲115kg  
-CO<sub>2</sub>  
エコドライブをした場合

※年間平均走行距離10,000km、燃費改善率10%、平均燃費20km/Lとして算出

#### ■電気自動車、燃料電池自動車、プラグインハイブリッド自動車を導入する

→ 走行中のCO<sub>2</sub>排出量をゼロに、または低減することができます



▲800kg  
-CO<sub>2</sub>  
電気自動車を導入した場合

※年間1万km 走行した場合

### その他

#### ■森林や海の保全活動に参加する

#### ■使えるものを大事に使用する

「フリマアプリやリユースショップを利用する」



▲62kg  
-CO<sub>2</sub>  
購入する服の10%を古着にした場合

世界初 福岡市では、下水汚泥を処理する過程で発生するバイオガスから水素をつくり、燃料電池自動車(FCV)へ供給する世界初の水素ステーションを開設しています。FCVが地球を1周以上(42,000km)走行できる水素を1日で製造することが可能です。



※中の数字は年間のCO<sub>2</sub>削減効果(福岡市試算)